

受賞者の声（公開）

氏名	足立 精宏	
受賞時所属	(所属) 分子科学研究所 機器センター	
	(職名) 特任研究員	
現所属	(所属) 理化学研究所 創発物性科学研究センター 物質評価支援チーム	
	(職名) テクニカルスタッフ I	
受賞テーマ名	結晶スポンジ法を用いたフェムトグラムスケール立体構造解析	
<h3>受賞テーマにおける研究活動の現況</h3> <p>受賞後間もなく大学院に復学し、その後理化学研究所に就職したため、私自身は受賞テーマからは離れてしまいました。私の異動に伴い、当時在籍していた分子研では受賞テーマは一旦保留となりましたが、共同研究先のストックホルム大学 Zou 先生の研究室で継続して取り組んでいただいています。わかしゃち奨励賞の目的のとおり「夢のある」挑戦的なテーマのため、実を結ぶのはもう少し先になるかと思いますが、百年来の科学者たちの夢が叶う日もそう遠くないと確信しております。</p>		
<h3>今後における研究活動の展望</h3> <p>昨年の 2 月以降、理化学研究所で X 線による構造解析を中心とした、研究支援業務に従事しています。理研内外の研究者の方々からの無理難題に四苦八苦しながらも、彼らの「夢」を叶えるお手伝いできれば、と日々奮闘しております。今後は、研究支援業務の傍ら、自身の研究も進めていきたいと考えております。受賞テーマの核であった「結晶スポンジ法」は、結晶でない物質であってもそれを穴の空いた結晶の中に取り込むことで、単結晶 X 線回折という分析法で構造解析が可能になるというものでした。今後は、種々の分析法を駆使したり、新たな解析法を開発したりして、結晶でない物質からも情報を引き出し、構造を明らかにしていきたいと考えています。アプローチは異なれど、「いろいろな分子の形を見たい」という夢に引き続き取り組んでまいります。</p>		
<h3>受賞後の反響・各賞の受賞等</h3> <p>分子研ホームページや広報誌（分子研レターズ）に取り上げていただき、先生方や友人からお祝いの言葉を頂きました。</p> <p>また、2020 年 2 月に「第二回 ～飛騨・神岡 短歌コンクール～ 女神へ贈るラブレター 審査委員長特別賞」を受賞いたしました。</p>		
<h3>わかしゃち奨励賞への期待</h3> <p>一般に「賞」と言うと、過去の優れた業績に対して与えられることが多いですが、わかしゃち奨励賞は「夢のある」テーマを提案した若手に対して「頑張れよ!」という期待と激励の気持ちを込めて贈られる賞だと思っております。私にとってのわかしゃち奨励賞がそうであったように、愛知県のみならず全国の若手の方々がこの賞をきっかけとして大きな夢を描き、そして、それを叶えようと頑張れるような、そんな奨励賞であってほしいと期待しております。</p>		